



田尻町議会だより

たじりの

8297

風

Vol.92

平成24(2012)年
8月1日発行

■発行／大阪府田尻町議会 ■編集／議会広報委員会 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺375番地1 電話 072-466-5000



幼保5歳児と小学3年生が
田植え(古代米)体験をしました!(6月13日)



主な内容

- ★ 一般質問 2 頁
- ★ 委員会報告 5 頁
- ★ 議決結果 6 頁
- ★ 表敬訪問・視察報告 7 頁
- ★ 意見書・この人にインタビュー 8 頁

一般質問

- 明貝 一平 議員 1. まちづくり活性化策を問う
- 坂口 実 議員 1. EV車等の充電スポットの設置を
2. 充電設備設置に助成金制度の新設を
- 小川 雄司 議員 1. 幼保施設の拡充を求める
2. 田尻町にもっとも有効な介護予防事業のあり方は
- 吉開 育子 議員 1. 高学年の学童保育の実施を求める
2. 震災がれき受け入れについて
- 大門 久恭 議員 1. 土地管理について問う
2. 吉見ノ里駅横の踏切について問う
- 仁部 順行 議員 1. 施政方針の（安全、安心）の中の防災対策について
2. 交通安全対策について
- 高木 謙治 議員 1. 花王石鹼跡地の活用について
2. 多目的グラウンド内の桜の木の伐採について
3. 吉見ノ里駅踏切での看板設置について

※この一般質問の内容は、各議員の責任のもと記載しております。



坂口 実 議員

問 EV車等の充電スポットの設置を

答 本町の地球温暖化対策を定め検討する

問 地球温暖化対策は世界的な課題であり、国や府がEV・PHV・電気二輪車の普及を推進しており、関連産業は急激に拡大している。大阪の産業振興をさらに加速させるためにも、充電スポットの設置は社会的意義がある。近い将来公用車にEV・PHVを導入して、カーシェアリングや地域住民へ貸し出すことで普及啓発が図れる。充電スポットや車両貸出を町内外へ情報発信することで本町へ人を呼び込む効果はある。積極的な検討を期待する。

答 パブリック充電設備の設置については、大阪府EV・PHVのまち推進マスタープランや本町の総合的な地球温暖化対策の方針を定める中で検討したい。なお、地球温暖化対策の計画については、本年度中にロードマップを作成し、平成25年策定を予定している。

問 充電設備設置に助成金制度の新設を

答 本町の地球温暖化対策を定め検討する

問 一般社団法人次世代自動車振興センターより、自治体・事業者・個人に関わらず電気自動車や電気二輪車本体価格の補助金に加えて、充電設備も補助対象機種であれば価格のほぼ2分の1の金額の補助金が交付される。しかし、別途生じる設備工事費等の負担があり、普及を妨げている一因である。本町において工事費の半額や一部に相当する助成金制度の新設を要望する。EV・PHV車は畜発電装置としての用途もあり、今後発生のある恐れのある災害時には補助電源として使用が可能であることを考慮した上、検討を期待する。

答 助成金制度についても、平成25年度に策定を予定している地球温暖化対策の計画の中で検討する。



小川 雄司 議員

問 待機児ゼロ、幼稚園3歳児の受け入れの公約実現を

答 3歳児は一時預かり、待機児解消は施設を見直す

問 今年3月議会で原町長は「平成25年4月から、幼稚園の3歳児受け入れにむけて、いろいろと課題はあるが、課題の克服に向けて、一つ一つ精査して着々とすすめている。」と述べています。しかし、5月31日の全協では、「復活は困難」と報告されたことについて、公約との関係で町民へのコメントをお願いします。また、「保育所待機児ゼロ」の公約をかかげていますが、新しい待機児解消策がありますか。

答 キップルームでの3歳児の一時預りは、きちんとした幼稚園児ではないかもしれないが、公約違反だとは思っていない。待機児解消は、現施設を見直せばまだスペース的に余裕があると思うので、まず見直したい。



吉開 育子 議員

問 高学年の学童保育の実施を

答 4年生に限り教育委員会と協議する

問 共産党議員団に「学童保育について、春夏冬休みの長期休業中だけでも希望者は高学年を受け入れてほしい」というご要望が寄せられました。議員団は、高学年保育要望のアンケート調査を実施しました。その結果、回答総数41人中「高学年の保育を希望する」が38人ありました。隣の泉佐野市では長期休業中に、4年生だけを受け入れています。まずは来年度から長期休業中の4年生までの実施と、長期休業中の保育開始時間を阪南市のように朝8時に繰り上げを求めます。

答 4年生に限り、教育委員会とどこが問題でどうすれば預かることができるか、もう一度協議する。長期休業中の保育時間は、8時15分からなら指導員が対応できる。

問 効果的な介護予防事業となるよう訪問調査の徹底を

答 65歳以上の町民を3年間で訪問する

問 要介護認定者の低減もしくは発生率の減少に実績を上げている埼玉県和光市は、高齢者の尊厳QOL（生活の質）の向上を目的に、実態にそくした計画となるように、アンケートの未回収者には訪問調査を徹底しておこなっています。本町では、アンケート回収率が54%と低く、今後、もっとも効果的な介護予防事業をおこなうことを探るため、これからでも訪問調査を行い、高齢者の尊厳とQOLの向上を目的に介護認定率の低減につとめるべきです。

答 本町に配分される府の基金を利用して65歳以上の町民1,800人を毎年、600人づつ3年間かけて地域包括支援センターで訪問しようと考えている。

問 震災ガレキの受け入れについての見解は

答 受け入れは時期尚早と考える

問 新聞で「被災地の不燃ガレキ 泉佐野、受け入れへ」と報道されました。その記事の中で「市は当初、可燃物の受け入れを検討していたが、焼却施設を共同運営する隣接の田尻町が現段階での可燃物処理に難色をしめしているため、不燃物を受け入れることにした」と報道されていますが、あくまで泉佐野市と市長への取材で記事にされたものです。本町の正式見解を求めます。

答 5月18日に泉佐野市長が来られ、震災ガレキを受け入れたいとの意向が示された。焼却灰の最終処分地が確保されてない、また焼却施設が古いことなどの懸念から時期尚早であると考え、慎重に検討していきたいと伝えた。受け入れしないとは一言も言っていない。被災地支援もあるが、町民の健康のことも心配である。



大門 久恭 議員

問 吉見ノ里の踏切り拡幅の進捗は

答 南海電鉄と協議して進めている

問 原町長は、平成24年度施政方針の中で「まちづくりの一環として、交通安全対策並びに防災上の観点から南

海本線吉見ノ里駅横の踏切りの拡幅整備また安全で使いやすい駅前となるよう関係機関と協議し、取り組んでまいります。」とあるが、今年度はどこまで踏み込んで協議していくのか。

答 今年度は鉄道事業者との覚書の締結に向けて取り組んでまいりたいと考えております。通常の土木工事とは違い、鉄道事業というところについては、若干いろんな制約もあり、進めていくに当たっての事業側の考えも入ってくると思うのでその辺については、今後協議をできる限り早く進めていきます。



仁部 順行 議員

問 施政方針の中の防災対策は

答 必要なハード対策も検討する

問 町長が掲げる防災対策では、あらゆる規模の自然災害を前提とした防災対策を進めることを基本的に考え、津波避難対策をはじめとしたソフト対策を中心に着手できるものから速やかに対応していくとあるが、ハード対策も同時に速やかに対応していくべきである。東日本大震災後も、いまだに余震が続いており、東海、東南海、南海地震がいつ起こってもおかしくない。町長は人命を守るためにはお金をかけてでも誠心誠意実施すると言っているが、どのようなことを最優先にしていくのか。

答 現時点では津波シミュレーションも出来ていない段階であり、基本的な考え方を整理し、田尻町地域防災計画を修正して、本当に必要なハード対策も含めて検討していく。

問 子どもたちの交通安全対策は

答 危機管理意識の高揚がはかれるよう指導する

問 京都府亀岡市などで登下校中の児童が巻き込まれる交通事故が相次いで発生しているが、本町はどのように考えているのか、また、なぜ施政方針の中に記載されなかったのか。

答 文部科学省は、この4月27日付で学校の通学路に関する大臣緊急メッセージを出した。また、学校が警察など関係機関と連携し、通学路の安全点検を求める通知を都道府県教育委員会などに出す方針を固めた。

また本町の教育委員会、学校サイドも皆で協力し合って、それぞれの視点で点検をすることになる。施政方針の中に記載できる内容としては、まだこれからなので、いろんな角度から点検作業を行なっていき、日頃からみんなで危機管理意識を高めるよう対応していく。



高木 謙治 議員

問 花王石鹼跡地の活用を

答 有効活用を図る

問 以前より、花王石鹼跡地活用の一般質問があったが、原町政になって跡地の活用をどのように考えているのか。

答 当該土地は平成10年度「憩いの広場」用地として取得。平成17年度に「田尻交流広場」ができ、平成22年度「田尻駅上広場」を整備したため、「憩いの広場」建設の意義が薄れている。平成22年3月と23年3月議会では、処分を含めて、有効活用を図っていくとの答弁であったが、原町長は処分をせず有効活用を図ってきたいと考えている。

委員会報告

総務建設常任委員会

委員長 仁 部 順 行

総務建設常任委員会に付託されました案件の審査結果、並びに経過報告。（6月11日開催）

◎損害賠償の額を定める専決処分の件

（公用車事故に関する損害賠償） 【全会一致で承認】

問 賠償額17万600円は高額に思うが、相手方車両の損失や過失割合、賠償額の内訳はどうなっているのか。

答 今回の事故は、本町職員が後方確認を怠ってドアを開けたことにより、相手方車両のドアミラーとドア2枚に損傷を与えたものであるため、過失割合は10対0となっている。賠償額の内訳は、修理代13万7,000円と修理におけるレンタカー代3万3,600円である。

◎平成24年度田尻町一般会計補正予算（第1号）の件 （5,987万7千円の増額） 【全会一致で可決】

問 現行2%となっている商工業振興資金利子補給限度率を来年度から1%に引き下げることは、低金利融資への借り換えを促すという観点からの考えだが、中小企業は昨今の経済状況の問題で収益が上がっていない中、銀行の査定が厳しくなっているのにスムーズに借り換える

問 桜の木の手入れ理由を広報に

答 広報掲載はしない

問 多目的グラウンド内の桜の木の手入れは、当初予算で議決された案件であるが、住民感情において複雑なものを持っている。手入れした理由を広報たじりて報告すべきではないのか。

答 毎年、桜の開花を楽しんでいる住民の気持ちを思うと、残念であるが、手入れ理由は根がかなり伸びて下水本管まで影響し、大規模な工事費がかかることや駐輪場付近の敷石もかなり隆起していて、利用者への危険性などを総合的に判断した。予算は170万円で17本の手入れ、根の掘り起こしや埋め戻し、敷石や一部遊歩道の修復も予算の中に含まれている。

手入れ理由をお問い合わせいただいた方々にはその都度説明し、一定のご理解を得ていると考えている。今後、丁寧な対応及び説明をしていく。

ことができるのか。

答 大阪府の制度融資については、従前から銀行が融資の判定を行っており、また、大阪府の制度融資の中には、長引く景気不況の関係で緊急に必要となる経営安定のための資金融資を目的にしたものもあり、融資を受けやすい状況となっている。



文教厚生常任委員会

委員長 高 木 謙 治

文教厚生常任委員会に付託されました案件の審査結果、並びに経過報告。（6月12日開催）

◎平成24年度田尻町一般会計補正予算（第1号）の件 （5,987万7千円の増額） 【全会一致で可決】

問 葬祭場に設置予定のエレベーターはどのようなものを考えているのか。

答 エレベーターの設置場所は、玄関から入って突きあたりにある倉庫のスペースを活用したいと考えてお



り、その空間に収まるサイズのエレベーターを設置することから6人乗り用のものを検討している。

また、葬祭場については、高齢者や体の不自由な方が来場されるケースが多々あることを考慮しており、車椅子対応も考えている。

◎平成24年度田尻町国民健康保険特別会計（事業勘定）

補正予算（第1号）の件

（255万8千円の増額） 【賛成3、反対1で可決】

問 保険料の収納率を向上させるために、3年間の短期で徴収官を置くということだが、その経緯はどうなっているのか。

答 近年国保料の収納率が下がってきており、このまま対策を講じないで収納率が下がると、大阪府からの特別調整交付金の減額の要因となったり、結果的に真面目に払っていただいている方々の保険料を上昇させる要因となってくる。このような理由から、収納率を向上させる必要があるため、徴収に対しての専門的なノウハウを持つ嘱託員を雇用するものである。

反対討論 国保料の収納率を上げるために、徴収専門官を配置することは、国保加入者の命と暮らしを守ることにはならないので反対である。

第2回 定例会議決結果

平成24年 6 月 7 日開会
平成24年 6 月20日閉会

件	名	結 果
住民基本台帳法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定の件		原案可決
泉佐野市田尻町清掃施設組合規約の一部変更に関する協議の件		原案可決
泉佐野市と田尻町との間の休日診療事務委託に関する規約の一部変更に関する協議の件		原案可決
損害賠償の額を定める専決処分の件		承認
平成24年度田尻町一般会計補正予算（第1号）の件		原案可決
平成24年度田尻町国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）の件		原案可決
動産の買入れの件		原案可決
取調べの可視化（取調べ全過程の録画・録音）の実現を推進する意見書		原案可決

議会新役員が決まりました

議長に東 小夜子 氏、副議長に明貝 一平 氏、監査委員に坂口 実 氏

平成24年第1回臨時議会が5月11日に招集されました。

前回（平成23年第1回臨時議会）から議長・副議長の任期が2年になったため、今回は議長・副議長を除いた常任委員会等の各委員が選任されました。

議会各種役員一覧表

総務建設常任委員会	Ⓐ 仁部順行	Ⓑ 坂口 実	小川雄司・東小夜子・大門久恭
文教厚生常任委員会	Ⓐ 高木謙治	Ⓑ 吉開育子	明貝一平・中川達夫・伊藤幸男
議会運営委員会	Ⓐ 小川雄司	Ⓑ 坂口 実	明貝一平・中川達夫・高木謙治
空港関連対策特別委員会	Ⓐ 仁部順行	Ⓑ 小川雄司	東小夜子・大門久恭・坂口 実
議会改革特別委員会	Ⓐ 明貝一平	Ⓑ 大門久恭	仁部順行・吉開育子・小川雄司・東小夜子 中川達夫・高木謙治・坂口 実・伊藤幸男
災害対策特別委員会	Ⓐ 小川雄司	Ⓑ 中川達夫	仁部順行・明貝一平・吉開育子・東小夜子 大門久恭・高木謙治・坂口 実・伊藤幸男
議会だより広報委員会	Ⓐ 明貝一平	Ⓑ 坂口 実	吉開育子・東小夜子・高木謙治
農業委員会	小川雄司・東小夜子		
都市計画審議会	仁部順行・小川雄司・大門久恭・坂口 実		
浅草共有山組合会議	明貝一平・大門久恭・坂口 実・伊藤幸男		
泉佐野市田尻町清掃施設組合議会	仁部順行・吉開育子・中川達夫・高木謙治		

※ Ⓐ 委員長 Ⓑ 副委員長

宮城県大崎市から市議会議員(10名)が来町

去る7月10日、宮城県大崎市（旧田尻町を含む1市6町が合併）の市議会会派（大崎ニューネット8名、公明党2名）議員が表敬訪問されました。

今回の表敬訪問では、昨年の東日本大震災に対する義援金等の支援についてお礼を述べていただくとともに、大崎市長並びに大崎市議会議長のメッセージ（お礼）をいただきました。



災害対策特別委員会視察報告

去る7月9日、災害対策等の特別委員会の運営状況を調査するため、和歌山市議会を訪問しました。

和歌山市議会では、平成23年6月21日に地震対策特別委員会を設置しており、議会定例会毎に委員会を開催しています。

委員会の運営状況としては、まず理事者（執行機関）から災害に関する報告事項の説明があり、その後各委員が質疑等を行っていました。

しかし、これでは質疑内容が関連質問の方向に広がりすぎることが度々あったことから、本年6月定例会からはテーマを整理した上で委員会を開催することになっています。

- ◎6月定例会 テーマ1 災害に強い人づくりの推進
- ◎9月定例会 テーマ2 災害に強いまちづくりの推進（予定）
- ◎12月定例会 テーマ3 災害等に強い体制づくりの推進（予定）



意見書

◎取調べの可視化（取調べ全過程の録画・録音）の実現を推進する意見書

全会一致で可決

趣旨 取調べの可視化はえん罪事件の防止や裁判員がより適正な判断を行うために必要不可欠なので、一刻も早く実現するよう求める。【一部抜粋】

提出者：小川 雄司 賛成者：坂口 実

提出先：衆議院議長／参議院議長／内閣総理大臣／内閣官房長官／総務大臣／法務大臣

この人に インタビュー

民生委員児童委員協議会 会長

ち い せい いちろう
地 井 誠一郎さん (72)

大阪府民生委員児童委員協議会連合会副会長

Q 民生委員に委嘱されて何年になりますか？

A もう33年になります。会長を受けてからは11年目に入りました。

Q 民生委員のお仕事を簡単に教えてください。

A 田尻町には23名の民生委員児童委員がおります。それぞれが区割りした地区の高齢者や障がい者といった、いわゆる社会的弱者の相談や関係機関への橋渡しです。その内2名が主任児童委員で、主に妊婦から18歳までの相談などを担当しています。

Q 組織の課題はありますか？

A 特に重要課題は思いつきませんが、欠員の場合の補充が難しく思います。それと、独自事業をするには少ない人数なので他団体と協働して事業をするようにしています。

Q 今後も続けていきたい事業はなんですか？

A 70歳以上のお宅を訪問する「友愛訪問」や、小学校高学年の児童に年賀状を書いてもらって75歳以上の方に渡す活動は続けて行きたいです。



田尻議会の千ヨツト教えて



田尻町地域防災計画ってナニ??



地域防災計画は、災害対策基本法に基づいて作成するものであり、都道府県防災会議が作成する都道府県地域防災計画、市町村防災会議（市町村防災会議を設置しない市町村にあっては、当該市町村の市町村長）が作成する市町村地域防災計画があります。

この計画は、①災害予防に関する事項②災害応急対策に関する事項③災害復旧に関する事項を重点に置いて作成しています。

なお、本町の地域防災計画については、昨年の東日本大震災に伴って津波対策について見直す必要があり、今後、国等からの新たな津波被害想定等が公表され次第、修正を行う予定となっています。

